

県知財総合支援窓口 全国本部から感謝状

24年度の取り組み評価

県内中小企業を知的財産の面から支援する「工業所有権情報・研修館（INPIT）県知財総合支援窓口」が、同窓口の全国本部から感謝状を贈られた写真。専門家によるオーダーメイドの支援を通じて熱意ある企業



の成長を促す2024年度の「加速的支援事業」の取り組みが評価された。

県窓口はやまなし産業支援機構内に設けている。24年度は、独自の技術やブランドなどを生かして成長を図る3社を、3人のスタッフが1社ずつ担当した。

各社が抱える課題に対し、全国から人選した弁理士や弁護士、中小企業診断士などでチームを組み、課題分析や支援計画書の作成などを実施。アパレル業のリブランド、製造業の特許出願や事業展開などをサポートしたという。

表彰制度は24年度実施事業分から設けられ、山梨を含む9窓口が対象となった。県窓口の担当者は「効果的な支援には、経営者との信頼関係を築き、課題を把握して適切な支援につなげることが求められる。表彰はありがたい」と話した。